

砥 部 町 議 会
平成 2 2 年 第 1 回 臨 時 会
会 議 録

平成22年第1回臨時会 会議録

招集年月日	平成22年1月15日	
招集場所	砥部町議会議事堂	
開 会	平成22年1月15日 午後1時30分 議長宣告	
応招議員	1 番 佐々木隆雄 2 番 森永茂男 3 番 松崎浩司 4 番 大平弘子 5 番 西岡利昌 6 番 山口元之 7 番 政岡洋三郎 8 番 栗林政伸 9 番 西村良彰 10 番 土居英昭 11 番 宮内光久 12 番 井上洋一 13 番 中村茂 14 番 中島博志 15 番 平岡文男 16 番 三谷喜好	
不応招議員	なし	
出席議員	出席議員は、応招議員の16名	
欠席議員		
地方自治法第121条の規定により説明のため会議に出席した者の職、氏名	町 長 中村 剛志 副町長 佐川 秀紀 教育長 佐野 弘明 総務課長 原田 公夫 企画財政課長 松下 行吉 教育委員会事務局長 藤田 正純 生活環境課長 東岡 秀樹	
本会議に職務のため出席した者の職氏名	議会事務局長 正岡 修平	
会議録署名	議長は、会議録署名議員に次の2名を指名した。	
議員の指名	6 番 山口元之 7 番 政岡洋三郎	
傍聴者	1 人	

平成22年第1回砥部町議会臨時会 議事日程

・開 会

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 諸般の報告

日程第4 議案第1号 砥部町ひろた交流センター家具物品購入契約の締結
について

日程第5 議案第2号 平成21年度砥部町一般会計補正予算(第6号)

日程第6 議案第3号 平成21年度砥部町水道事業会計補正予算(第4号)

・閉 会

平成22年第1回砥部町議会臨時会

平成22年1月15日（金）

午後1時30分開会

○議長（西村良彰） ただ今の出席議員は16人です。定足数に達していますので、平成22年第1回砥部町議会臨時会を開会します。本日の会議を開きます。町長より招集のあいさつがあります。中村町長。

○町長（中村剛志） 本年第1回の議会でございますので、議員の皆様方改めまして新年明けましておめでとうございます。

臨時会の開会に当たり一言ごあいさつを申し上げます。本日は年明け早々、公私ともご多忙のところ臨時会にご出席を賜り誠にありがとうございます。昨年2月に合併以来2期目の町政を預かり、早1年が過ぎようとしています。この間、国政におきましては、民主党政権が誕生するなど昨年は歴史に残る激動の年でありました。マニフェストという大きな荷物を積んで出航した鳩山丸ではございますが、いざ出航してみると過積載の上に、吹く風が強く、思うように前に進みません。追い討ちをかけるように新年早々激務の為か、健康上の理由で藤井財務大臣が辞任されました。やはり何においても健康であることが基本でございます。健康でなければ元気も出ません。今年が寅の年です。寅は万物の誕生を意味し、春が来て、草木が生じる状態のことを表しているとされていますので、今年こそは日本経済が元気を取り戻し、住民の生活が向上することを願うばかりでございます。

さて、本日の臨時会にご提案させていただきます案件につきましては、砥部町ひろた交流センターの家具備品の購入契約、そして、広田小学校の体育館の耐震補強等の工事、水道事業の宅地造成に伴う給水管敷設工事などの補正予算をお願いしております。いずれも詳細に説明させていただきますので、ご審議の上、ご議決賜りますようお願い申し上げます、ごあいさつとさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

~~~~~

日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（西村良彰） 日程第1会議録署名議員の指名を行います。会議録署名議員は、会議規則第118条の規定により6番山口元之君、7番政岡洋三郎君を指名します。

~~~~~

日程第2 会期の決定

○議長（西村良彰） 日程第2会期の決定についてを議題とします。おはかりします。今臨時会は、1月7日に開催しました議会運営委員会において、本日1日に決定しました。これにご異議ありませんか。

[「異議なし」の声あり]

○議長（西村良彰） 異議なしと認めます。よって会期は、本日1日と決定しました。

~~~~~

## 日程第3 諸般の報告

○議長（西村良彰） 日程第3諸般の報告を行います。

まず、地方自治法第121条の規定により、町長以下関係者の出席を求めましたのでご報告します。

次に、監査委員より、11月末現在までの例月現金出納検査について良好であった旨の報告がありました。

以上で、諸般の報告を終わります。

~~~~~

日程第4 議案第1号 砥部町ひろた交流センター家具物品購入契約の締結について

(説明、質疑、討論、採決)

○議長（西村良彰） 日程第4議案第1号砥部町ひろた交流センター家具物品購入契約の締結についてを議題とします。本案について提案理由の説明を求めます。松下企画財政課長。

○企画財政課長（松下行吉） 議案第1号砥部町ひろた交流センター家具物品購入契約の締結についてご説明申し上げます。次のとおり物品購入契約を締結することについて議会の議決を求める。平成22年1月15日提出、砥部町長中村剛志。契約の目的でございますが、砥部町ひろた交流センター家具の購入でございます。契約の方法は、指名競争入札で行いました。契約金額は、1,275万7,500円で、うち消費税及び地方消費税の額が60万7,500円でございます。契約の相手方でございますが、松山市馬木町446番地1、株式会社フォーデック四国支社、取締役支社長石田信正でございます。提案理由でございますが、砥部町ひろた交流センターの家具購入

契約を締結するにあたりまして、砥部町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定により提案するものでございます。内容について説明いたします。お手元の入札結果等の資料をご覧ください。まず、入札の結果ですが、昨年12月21日に開札をしております。お手元にあるように8社を指名いたしまして、株式会社フォーデック四国支社が最も安価な価格を示しました。予定価格に対する落札率は97.2%でございます。なお、この入札結果に入っております、右上にあります契約日とありますのは、仮契約日とご理解いただけたらと思います。それから購入物品でございますが、資料の2ページの方をご覧くださいなのですが、会議用机から座椅子までそれぞれ数量のものを入れることといたしております。以上で説明を終わらせていただきます。ご議決賜りますようよろしくお願いいたします。

○議長（西村良彰） 説明が終わりましたので質疑を行います。質疑はありますか。

○議長（西村良彰） 8番、栗林政伸君。

○8番（栗林政伸） 課長の説明を聞いて、8社で指名入札したと、久しぶりに97%という非常に高い入札で落札した。97%という数字を久しぶりにお聞きしたのですが、何かの方法でもうちょっと安く入札が出来る方法はないのか。それとも、1,250万円という予定価格が低すぎたからそういう結果になったのか。最近の下水道とかいろいろな工事の入札を見ても、だいたい70から80位の間できておると思うんですけども、ちょっと97%というのが高い気がするのですが、課長どういふあれか説明をお願いします。

○議長（西村良彰） 藤田教育委員会事務局長。

○教育委員会事務局長（藤田正純） 栗林議員さんのご質問にお答えいたします。今回この家具等の備品につきましては、設計金額に対しまして落札した金額の率が高いということでございますが、この設計そのものを定価の65%でみております。定価で計算いたしますと2,140万円余りでございます。落札したのが1,275万7,500円でございますので、定価に対しまして落札した分が59.6%でございます。以上のような結果で、予定価格に対しましては落札率が高いのですが、予定価格そのものをかなり下げておりますのでご理解をいただけたらと思います。

○議長（西村良彰） 他にございませんか。16番、三谷喜好君。

○16番（三谷喜好） 今担当者の方から説明がございました。私も新しい方法でこれやられた。財政課長お尋ねしますが、これからも予定価格の公表さ

れた後には、いわゆる定価を公表されて、その見積りのなんぼと、今後もうこういう方法でやっていただくと、なお私は分かりやすいのですが、続けていただけますでしょうか。財政課長。

○議長(西村良彰) 松下企画財政課長。

○企画財政課長(松下行吉) 三谷議員さんのご質問にお答えいたします。入札とかをする場合に設計書なり仕様書なりというものを作る訳なんです、その際には設計専門の方に依頼する場合、また、場合によっては職員が作る場合等ございます。その中には、例えば、いろいろなものを決める時に見積りなどを取って、さらにその中から何割かを切って、設計を入れる場合等ございます。今回の場合には、公表されておる一般の販売価格に対して65で作ったということございまして、このような内容の詳細にまで設計結果について公表するかどうかについては、今後の検討課題とさせていただきます、この場でやるというところまでは私もお答えできかねるところがあります。研究課題としてみていただいたらと思います。また、入札については、工事の入札もあればこういう物品とかいろいろな種類もございますので、そういうことができるものとできないものもあろうと思いますので、その点もご理解いただいたらと思います。

○議長(西村良彰) 他にございませんか。6番、山口元之君。

○6番(山口元之) 設計の中に備品が入っていたと聞いたんですけれどもそれで間違いないですか。備品の設計でされていると。合わせてお聞きしますが、机とか椅子とか保管庫とかこういうのは規格を揃えてやっとなんですか。それに該当するものであればいいとか、そうじゃなくてどこのメーカーのどれをいうふうな頼み方をして、こういう見積りをしているのですか。

○議長(西村良彰) 藤田教育委員会事務局長。

○教育委員会事務局長(藤田正純) 山口議員さんのご質問にお答えいたします。設計書の中にはメーカー名、品番等規格を設けておりますが、入札に当たりましたは、同等品以上も認めております。今回そういう形で他のメーカーを入札された方もいらっしゃるようです。以上でございます。

○議長(西村良彰) 6番、山口元之君。

○6番(山口元之) 同等品ですよ。ぼくも昔ちょっとしよったもので、この同等品というのは相当な差があると思うんですよ。そして、やはりこれだけ高額になったら同等品の安いやつを探してきて、向こうは精一杯かけてくるようなやり方であって、きちんとしたメーカーのもので、きちんとこういう入札はやるべきやと思うんですよ。そして、今言よった金額が97.2%

で高いじゃないかと、言うたら実際は65%で設計しとると言うのであれば、その65以下になるということですよ。これが実際は。だったらそういう表示をしたらどうしていかんのですか。これは。

○議長(西村良彰) 松下企画財政課長。

○企画財政課長(松下行吉) 私の方から山口議員のご質問にお答えします。まず一点、同等品以上ということを設定するかしないかの問題ですが、一般的には多くの方から入札に参入してもらうためには、メーカーとかの縛りをせずに、ある程度基準になるメーカーの品番等を示して、それとの同等品以上を求めるといようなやり方がよろしかろうと思います。今後もできるだけそういうふうな形で入札といいますか、設計書等の作成についてはあたりたいたいというふうに考えております。それともう一点、設計価格をどうお示するかですが、設計価格については、先ほども申しましたように、専門の方が作られる場合だとか職員でいろいろ調べて作る場合と、この仕様を作る場合がございます。その場合にも、やはり、今であればこの価格で、例えば定価であれば7割以下で入るであろうと、7割程度のところで入るだろうとか、こういうことをある程度設けて作らざるを得ない。どうしても買う時にはいくらか下がる訳ですので、全部を定価で予算として取るのは、適切ではございませんし、また、過剰に大きくなるのではないかと、なら、定価がどういうものかということになってくる訳なんですけれども、それ以下にはもっと下げて取得できるだろうという条件の下で設計書を作ることは必要であろうというふうに考えております。さらに、その設計書を基準に皆さんに競争していただいて、その規格以上のものを安く入れていただくというのが一般的によろしい方法ではないかというふうに考えております。

○議長(西村良彰) 6番、山口元之君。

○6番(山口元之) 今、よい備品を安く入れるために同等品と言ってますけれども、同等品はそれだけの質の差もものすごいあるし、やっぱり正規のきちっとしておるものと全然差が違うと思いますよ。今までにもそういうこと、同等品とかいうので質の悪い品を納めても、同等品、定価がその値段に載っておればそれでよいんだというふうな考えでずっと入札やってきていると思うんですよ。同等品とメーカーでちゃんと規格を作っておるのと全然違う商品を買うに当たって、設計業者が一生懸命お金かけてそういう見積りをして、実際入ったのはそんなによいものじゃないものが現実に入ってきておると思うんですよ。これから中学校の備品もいっぱいあると思うんですけれどもね、やはり、そういうところはもうちょっと考えて、よい物を買えばお

そらく長持ちもする。やっぱり差があれば、それだけの差の分はいずれは返ってくると思うんです。やはりきちんとそういう設計もして、検討もするのであれば、きちんとしたものを入れるようにこれからやっていただきたいと思います。同等品なんか言うのは、入札する時もってのほかやと思います。

○議長(西村良彰) 1番、佐々木隆雄君。

○1番(佐々木隆雄) 単純な質問になるのですが、この価格の中身といえますか、納品、組み立て、配置その辺まですべて含めての価格になっているのでしょうか。

○議長(西村良彰) 藤田教育委員会事務局長。

○教育委員会事務局長(藤田正純) 佐々木議員さんのご質問にお答えをいたします。物品につきましては、納品、取り付け、設置すべて含んだ価格となっております。以上でございます。

○議長(西村良彰) 他にありませんか。質疑を終わります。

討論を行います。討論はありませんか。

[討論なし]

○議長(西村良彰) 討論なしと認めます。

議案第1号の採決を行います。本案は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

[「異議なし」の声あり]

○議長(西村良彰) 異議なしと認めます。よって、議案第1号 砥部町ひろた交流センター家具物品購入契約の締結については可決されました。

~~~~~

日程第5 議案第2号 平成21年度砥部町一般会計補正予算第6号

日程第6 議案第3号 平成21年度砥部町水道事業会計補正予算

(第4号)

(説明、質疑、討論、採決)

○議長(西村良彰) 日程第5議案第2号及び日程第6議案第3号の平成21年度補正予算に関する2件を一括議題とします。本案について、提案理由の説明を求めます。松下企画財政課長。

○企画財政課長(松下行吉) 2件の補正予算について私の方からご説明させていただきます。まず、一般会計でございますが、議案第2号平成21年度砥部町の一般会計補正予算(第6号)は次に定めるところによる。第1条としまして、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ9,603万9千円を

追加し、歳入歳出総額をそれぞれ70億2,580万4千円とするものでございます。後、第2条として地方債補正を行っております。平成22年1月15日提出、砥部町長中村剛志。内容についてご説明申し上げます。今回の補正につきましては、広田小学校体育館の耐震、それから改修工事の追加が主なものでございます。内容につきましては、予算書の12,13ページをご覧ください。10款教育費に委託料として広田小学校体育館耐震補強工事監理委託料として206万4千円を、工事請負費として耐震補強等の工事費9,397万5千円を追加するものでございます。加えて、上のところがございますが、指定統計調査費の節の予算の組み替えをいたしております。報酬を2万4千円増額、職員手当を5万5千円、これは時間外勤務手当でございますが、5万5千円増額し、賃金、需用費を減額するものでございます。予算の増減はございません。今回の広田小学校の体育館耐震補強につきましては、本年、21年度国の方で一次補正予算などが組まれて、耐震の補強につきまして非常に補助率等もよい条件になっておりました。そういう中で、砥部町では、この広田小学校体育館の補強工事については、22年度を予定しておりましたが、今年度さらに条件がよいということで県を通じて国の方と話をしておりましたけれども、今回、内示をいただきまして補助金が付くことになりましたので、補正予算に計上するものでございます。その内容でございますが、歳入の方10ページ、11ページをご覧ください。13款国庫支出金の2項1目総務費国庫補助金の地域活性化・公共投資臨時交付金を320万円、それから、6目教育費国庫補助金の安全・安心な学校づくり交付金を6,018万6千円財源とするものでございます。それから、同じく地方債の方で合併特例債2,390万円をこの工事に充てる予定としております。残りは普通交付税の方を一般財源として予定しております。それから、地方債補正の方でございますが、4ページをご覧ください。これも小学校体育館の補強工事に充てるものでございますが、限度額2,960万円であったものを2,390万円増額して5,350万円とするものでございます。増加分2,390万円は広田小学校体育館の補修工事に充てたいします。以上が一般会計の方の補正内容でございます。

続きまして、議案第3号の1ページをお願いいたします。よろしいでしょうか。議案第3号平成21年度砥部町水道事業会計補正予算(第4号)でございます。第2条としまして、水道事業会計予算第3条に定めた収益的収入及び収益的支出の予定額を次のとおり補正する。まず収入でございますが、1款1項営業収益を350万円増額いたします。収入合計3億4,558万4

千円とするものでございます。支出でございますが、第1款1項営業費用を371万2千円増額し、支出合計3億3,110万2千円とするものでございます。次に第3条としまして、予算第4条本文括弧中、「不足する額1億3,338万円」を「不足する額1億3,444万円」に改め、「過年度分損益勘定留保資金1億1,838万円」を「過年度分損益勘定留保資金1億1,944万円」に改め、資本的支出の予定額を次のとおり補正するというもので、支出1款1項建設改良費を106万円増額し、支出合計1億5,464万1千円とするものでございます。平成22年1月15日提出、砥部町長中村剛志。内容でございますが、2,3ページをお願いいたします。2ページの収益的支出の方をご覧いただきたいのですが、3目受託工事費給水工事請負費として350万円を増額いたします。後、5目総係費として手数料及び使用料21万2千円を増額いたします。続きまして3ページ資本的支出でございますが、土地の購入費として106万円を計上するものです。これはあかがねにあります旧川井ポンプ場用地の購入ということで54㎡を予定しております。以上でございます。ご審議の程ご議決賜りますようよろしくお願いいたします。

○議長（西村良彰） 説明が終わりましたので、質疑を行います。質疑はありませんか。

○議長（西村良彰） 質疑なしと認めます。

討論、採決については1件ずつ行います。

議案第2号平成21年度砥部町一般会計補正予算（第6号）について討論を行います。討論はありませんか。

[討論なし]

○議長（西村良彰） 討論なしと認めます。

議案第2号の採決を行います。本案は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（西村良彰） 異議なしと認めます。よって、議案第2号平成21年度砥部町一般会計補正予算（第6号）は可決されました。

議案第3号平成21年度砥部町水道事業会計補正予算（第4号）について討論を行います。討論はありませんか。

[討論なし]

○議長（西村良彰） 討論なしと認めます。

議案第3号の採決を行います。本案は原案のとおり決定することにご異議

ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（西村良彰） 異議なしと認めます。よって、議案第3号平成21年度砥部町水道事業会計補正予算（第4号）は可決されました。これで本日の議事日程はすべて終了しました。会議を閉じます。町長ごあいさつをお願いします。中村町長。

○町長（中村剛志） 閉会に当たり一言お礼を申し上げます。議員の皆様には上程いたしました議案について慎重にご審議いただき、すべてご議決を賜りましたことに心より感謝を申し上げます。21年度も残すところ2カ月余りとなりました。ここにきて詰めを誤らないようしっかりと各事業を再点検しながら仕上げたいと考えておりますので、議員の皆様のご指導・ご支援をよろしくお願い申し上げます。昔から椿さんが来たら暖かくなると言いますが、今年は2月20日からのようでございますので、伊予路に春が来るのは今しばらく先のようにございます。これから本格的な寒さを迎えます。健康には十分気をつけられまして、お仕事にそして町政発展のためにご活躍されますようお願い申し上げます、閉会のごあいさつとさせていただきます。ありがとうございました。

○議長（西村良彰） 以上をもって、平成22年第1回砥部町議会臨時会を閉会します。

午後2時2分 閉会

地方自治法第123条の規定により、会議の経過を記載し、その相違ないことを証明するためにここに署名する。

砥部町議会議長 西村 良彰

議員 山口 元之

議員 政岡 洋三郎